

各学校および団体 様

平成 27 年 10 月 6 日

第 24 回全国中学校新人競漕大会中止決定および経緯について

第 24 回全国中学校新人競漕大会
大会長 佐藤光宏

日頃は、社会教育指導およびボート振興にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。

また、10 月 3 日・4 日開催の全国中学校新人競漕大会へ参加の意を表していただき重ねてお礼申し上げます。

大会長といたしましても、今大会を中止せざるを得ない苦渋の選択に至りましたことを大変残念に思っており、また監督や顧問の先生方をはじめ練習に励んできた生徒たちのことを思うと無念でなりません。

経緯といたしまして、10 月 1 日の木曜日にはコース設営がほぼ完了し、当日の大会を待つばかりのところでしたが、2 日の午前 1 時から 5 時にかけて爆弾低気圧による暴風と豪雨で飛騨川の増水量が予想をはるかに超えました。特に上流の飛騨地方直撃により、通常川辺ダムでの放流が 800 トンで赤旗とする当町の漕艇場において、午前 8 時の時点では 1,200 トンとなり、コースアンカー、ワイヤー、コースポールが川辺ダム発電所方面へ流され始めました。濁流でワイヤーが絡まり、コースの再設営は不可能と判断し、大惨事を避けるべく、ワイヤー、コースポール等の撤収に町職員を要請しました。この時点で中部電力川辺発電所に放流量を確認したところ、放流のピークはまだ来ていない旨の返答をいただきました。競漕委員を含めて、当町での開催の可否を可能な限り模索いたしましたが、生徒の安全を重視し大会の中止を決定いたしました。

生徒たちが川辺町の漕艇場で、力一杯のびのびと漕ぐことを心待ちにしていたかと想像すると大変心が痛みますが、上記の状況下であったことをどうかご理解いただきたく存じます。

また、今大会の延期は、役員等の日程および宿泊の手配などから実施できない状況です。重ねてご理解いただきますようお願い致します。

最後に各学校、団体の皆さま方におかれましては、今大会へ向けて様々な調整等をしていただき、大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。